

平成25年度 J A都市農村交流基礎研修会Ⅲ 開催案内
～外部連携のための基礎研修会開催要領～

平成25年10月
全国農業協同組合中央会
J A都市農村交流全国協議会

1. 開催主旨

都市と農村における交流活動で中間的な役割を担うJ A担当者が必要とされる基礎知識の習得を目的として開催します。今回の基礎研修会Ⅲは、外部(地域)団体との連携に必要な知識・ノウハウを習得するために、先進的な取り組みをしているJ Aおよび民間企業の取り組みの現地視察と講習を組み合わせ、企画立案、企画運営などに役立つ実践的な研修内容となっております。

【参考】

*基礎研修会 I

体制整備、企画立案、インストラクター、コーディネーターに必要な基礎知識・技能の習得プログラムの研修(県域、J A等の要請によって個別対応)

*基礎研修会 II

地域・都市住民へ向けた情報発信の手法・手段の基礎知識・技能の習得および先進的な事例、会員間の情報交換などを組み合わせた研修(集合研修・9/20実施済)

2. 主催

全国農業協同組合中央会
J A都市農村交流全国協議会

3. 受講対象者

主に都市農村交流、食農教育対応部署の担当者
※企画・営農部門などの方の参加も歓迎

4. 研修会期間 平成25年12月12日(木)～13日(金) *2日間

5. 研修申込み締切り 平成25年11月29日(金)

6. 申込方法

J A都市農村交流全国協議会はこの研修の事務局の一部を(一社)全国農協観光協会に委託して、開催いたします。

参加申込は、別紙3「受講申込書」(P8)を、全国農協観光協会地域振興推進部宛てにファックスにてお申込みください。

一般社団法人 全国農協観光協会 地域振興推進部
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-16-8
電話 03-5297-0323 FAX 03-5297-0260
※事務窓口：地域振興推進部 清水又は太田まで

7. 研修場所

- (1) JAおうみ富士 ファーマーズ・マーケット「おうみんち」
〒524-0103 滋賀県守山市洲本町2785 電話 077-585-8318
- (2) チャレンジファーム in 淡路 (PASONA 農援隊)
〒656-1741 兵庫県淡路市浅野南100-3 電話 0799-80-2240
- (3) のじま scuola (スコーラ)
〒656-1721 兵庫県淡路市野島藁浦843 電話 0799-80-2240

8. 定員 30名

9. 事前提出書類・当日持参資料

- (1) 事前提出書類 (任意)
 - ◆外部 (地域) 連携による取り組み事例 (チラシ、企画書、掲載記事等)
 - 【送付先：JA 全中食農くらしの対策課 石井宛て】
 - 【送付期限：12月6日(金)】
- (2) 当日持参資料
 - ◆筆記用具、名刺

10. 研修内容 別表1「日程表」(P4)
別紙2「研修先・講師紹介」
をご参照ください。(P5-7)

11. 研修宿泊

ホテルプラザオーサカ

〒532-0025

大阪府大阪市淀川区新北野1-9-15

TEL: 06-6303-1000

【最寄駅】阪急十三駅から徒歩10分



12. 研修費用（消費税込）

（1）Aコース（基礎研修会＋情報交換会＋宿泊）

- ◆ J A都市農村交流全国協議会会員 お一人様 20,000円
- ◆ J A都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 25,000円

（2）Bコース（基礎研修会＋情報交換会）

- ◆ J A都市農村交流全国協議会会員 お一人様 15,000円
- ◆ J A都市農村交流全国協議会会員外 お一人様 20,000円

※講習会当日、受付と同時に（一社）全国農協観光協会から請求書を発行します。

※12月6日（金）までに、次の口座へ振り込み送金をお願いします。

- ◆金融機関名：農林中央金庫本店
- ◆口座番号：（普通）4003410
- ◆口座名：（社）全国農協観光協会

（シャ）ゼンコクノウキョウカンコウキョウカイ

※講習会前日・当日の欠席の場合、経費は全額徴収することとし、後日請求書を発行します。

※研修費用の内訳は、受講料、テキスト代、昼食代（2回）、夕食代（1回）・宿泊代（Bコース除く）、研修行程内の交通費を含む。

13. その他

（1）終了後アンケート実施。

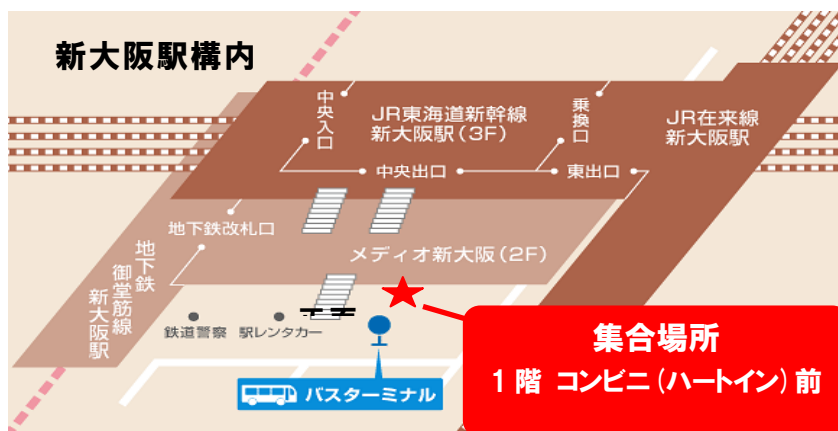
（2）研修先への自家用車の乗り入れは厳禁。

なお、指定ホテル宿泊者の方でホテル駐車場をご利用希望の場合事前にご相談下さい。

（3）集合について

集合日時：平成25年12月12日（木）AM10：30

集合場所：JR新大阪駅 1階コンビニ（ハートイン）前



以上

【本件に関するお問い合わせ】

J A都市農村交流全国協議会事務局

（J A全中 食農・くらしの対策課 担当：石井、香取）

TEL：03-6665-6244／FAX：03-3217-5073

E-mail：kurashi.s@zenchu-ja.or.jp

平成25年度JA都市農村交流基礎研修会Ⅲ 日程表
～外部（地域）連携のための基礎研修～

【1日目】

日 程 表	
10:30	JR新大阪駅集合 ※10:45貸切バスにて出発 ※車中にて、挨拶・オリエンテーション、視察地事前学習など
12:00～ 14:00	のじまスコーラ視察 ◇レストランテ(昼食) ◇ベーカリー、カフェ、多目的スペース等見学
14:20～ 15:30	パソナチャレンジファーム視察 ◇パソナチャレンジファーム見学および取り組み内容の説明 *ベネ村(ダッシュ村型)の事例紹介等 ※貸切バスにて大阪市内へ移動
17:00 17:15～ 18:45	ホテルプラザオーサカ着 情報交換会(夕食付) ※宿泊:ホテルプラザオーサカ

【2日目】

日 程 表	
8:45	各自朝食を済ませ、ロビー集合 ※9:00貸切バスにて出発 ※車中にて、視察地事前学習など
10:30～ 12:30	JAおうみ富士・おうみんち視察 ◇JA概況説明、主要施設の見学(直売所、レストラン、体験圃場、調理施設等) ◇昼食:農家レストラン(11:00から12:00) ◇青空フィットネスクラブ、立命館大との連携などの活動説明
13:00～ 15:00	外部(地域)連携に必要なスキル講座およびグループワーク・まとめ ※バスにてJR新大阪へ移動
16:30	JR新大阪駅、着後解散

※研修内容については、一部変更になる場合もあります。ご了承ください。

【研修先・講師紹介】

J A 先進地視察先・事例発表

【講師】

J A おうみ富士 ファーマーズ・マーケット「おうみんち」
部長 川端 均 氏

【J A の主な取り組み】

J A おうみ富士が運営する「おうみんち」では、ファーマーズ・マーケットと併設して食材を生かしたメニューを開発しバイキング料理を提供するレストランが地域食材供給施設として注目されています。そこでは、利用者との交流の一環として、「青空フィットネスクラブ」と称し、農業体験イベントやスイーツおよび郷土料理試食会・料理教室、栄養の勉強会など様々なくらし支援の学習会を、年3～4回程度実施し、その参加者の会員化を図っています。その活動の中では、収穫したサツマイモを地元の酒造会社と提携し、オリジナルの芋焼酎を製造し、直売所での販売も手掛けています。

また、立命館大学の学食にて、運営する大学生協とも連携し、野菜不足の学生が自ら収穫した野菜を使って鍋を作る「鍋畑」プロジェクトも J A 草津市と共に参加しています。

【視察先概要】

<ファーマーズ・マーケットおうみんち>

おうみんちは滋賀県の中でも最大級の規模を誇る農産物直売所です。地元で収穫された“安全・安心”、そして新鮮な農産物が、どなたでも気軽にお買い求めいただけます。

朝に収穫された野菜がその日の夜の食卓を飾る。そんな健康的な食生活が実現できるのもおうみんちの魅力の一つです。さらに地元で収穫された農産物を使ったお惣菜やお菓子、米粉のパンやジャムなどの加工品もたくさん販売しています。

地域食材バイキングレストランでは、地元で採れた新鮮野菜を使い、地元のお母さんたちが一品ずつ手づくりしています。コンセプトは“日々のおかず”。この手料理をバイキング形式で味わうことができます。野菜中心でヘルシーなこだわり料理を提供しています。併設するカフェでは旬の果物や野菜を原材料としたジェラート、ケーキやお菓子なども販売しています。

民間企業の取り組み視察先・事例発表

【講師】

株式会社ベネフィット・ワン サービス開発部 ベネ・ワン村担当
ジュニアマネージャー 真保 まゆみ 氏

【ベネフィット・ワンの主な取り組み】

福利厚生業務のアウトソーシングサービスを手掛ける株式会社ベネフィット・ワン（本社：東京都渋谷区）は、ベネフィット・ワンの福利厚生会員向けに、農業など地域での自然体験を通して、社員や家族同士の交流を深める場として、第1号拠点は埼玉県ときがわ町、第2拠点は兵庫県淡路島に「ベネ・ワン村」を開設しました。この開設の目的は、福利厚生会員向けに、地域での自然体験が出来き、企業間を超えた家族ぐるみ、社員同士のコミュニケーションを促進することであり、バーチャル村の展開としてフェイスブックも開設し、各地域でのイベント告知や体験の様子などを紹介し、イベントに参加できない会員同志の交流も促進を図っています。

また、淡路島では、グループ企業の株式会社パソナ農援隊が運営するチャレンジファームにて農業体験を展開しており、淡路島の地域活性化および交流拠点として、廃校をリニューアルした「のじまスコーラ」にも出資しています。

【視察先概要】

＜株式会社パソナ農援隊＞

2011年12月に設立し、農業分野における人材の育成、新たなビジネスモデルの構築、サポートインフラの整備を旨とし、さまざまな事業を展開しています。

パソナグループの一事業部だった08年にスタートした兵庫県・淡路島における新規就農者支援事業「チャレンジファーム」は、当初4ヘクタールだった農地を現在では10ヘクタールにまで拡大しました。

メンバーの栽培技術は進歩し続けており、農作物の生産にとどまらず、「のじまスコーラ」を拠点として、加工、販売までを一貫して行う仕組みを確立し、6次産業化を推進しています。

＜のじまscuola（スコーラ）＞ *scuolaは「学校」の意

「のじまscuola」は、2010年に閉校となった淡路市立野島小学校をリニューアルし、「農・食・学・芸」をキーワードに、イタリアンレストラン・カフェ・ベーカリー・マルシェ・ミュージック小ホール等の様々な機能を有した施設です。また、イタリアンレストランは、山形県鶴岡市の人気料理店「アル・ケッチャーノ」のオーナー・シェフ奥田政行氏のサポートを得て、淡路島の食材を使った季節感あふれる料理を提供しています。

*当研修会ではこちらのレストランでの昼食を予定

外部提携に必要なスキル講座

【講師】

一般社団法人 全国農協観光協会 地域振興部
副部長 清水 寿一 氏

【全国農協観光協会の主な取り組み】

一般社団法人 全国農協観光協会は、農山漁村の自然環境や文化等に対するふれあいを通して、人間としてのうらおい、健全な精神醸成を求めため、農山漁村と都市との交流の活動を支援する活動に取り組んでいます。

一方、農山漁村においては、過疎化や高齢化等による地域活力の低下という深刻な問題を克服するため、都市の動きに対応しながら、豊かな活力ある村づくりをめざし、特産品づくりや特色ある自然環境等の地域資源を活かし、訪れる都市住民とのふれあいの場づくり等につとめております。当協会は、このような都市及び農山漁村の動きに呼応し、都市・農山漁村の双方にご満足いただけるようさまざまな事業に取り組んでいます。

<ふるさと倶楽部>

当協会が運営する元気な農村づくりを目指す「農村応援団的組織」で、主に都市住民を対象とし会員化しており、入会金・年会費は無料にて運営しています。グリーン・ツーリズムをベースとして四季折々の農山村や都市部で様々な交流イベントなどを行っています。

<快汗!!猫の手援農隊>

農作業支援ボランティア活動を通じて都市と農村の交流を深めていただこうと「快汗!!猫の手援農隊」を結成しさまざまな活動を行っています。

<地域支援事業>

グリーン・ツーリズムを通じ、農産漁村地域の受入体制整備に向けてこれまでのノウハウ、受入地域のネットワーク等活用し、地域JAの人事育成支援および地方自治体と連携した、地域活性化に取り組んでいます。

平成 2 5 年度 J A 都市農村交流基礎研修会Ⅲ

外部連携のための基礎研修会 受講申込書

平成 年 月 日

一般社団法人 全国農協観光協会 殿

組織名： _____

代表者役職名： _____

代表者名： _____

1. (ふりかな) 氏 名 性 別・年 齢	男 ・ 女 () 才
2. 所 属	部 課
3. 役職名	
4. 現在の担当業務	
5. 担当業務在職年数	() 年
6. 緊急連絡先 (現在の勤務地)	住 所 : T E L : F A X : E-mail : 携帯電話 :
7. 研修費用 (要領 P 3 参照)	会 員 <input type="checkbox"/> 20,000 円(A コース) <input type="checkbox"/> 15,000 円(B コース) 非会員 <input type="checkbox"/> 25,000 円(A コース) <input type="checkbox"/> 20,000 円(B コース)
8. 備考	

注 1 : 締め切り 1 1 月 2 9 日 (金)

注 2 : この申込書は、本研修会の事務局・講師・参加者等に配布する名簿の作成のみに使用します。